

## 【別紙1】提案書評価基準表

目次	記載依頼事項	評価の視点	比重	配点
提案要素1 追加セキュリティ対策の全体構成 (200点)			40	200
1	全体構成について	本委託業務にかかる背景や目的を理解したうえで、構築を行う追加セキュリティ対策の全体構成について記載すること。特に、それぞれの機能が連携することで、全体として必要十分な対策が全接続団体で利用可能であることを説明すること。	背景と目的が十分に理解されており、必要十分な対策が全接続団体で無理なく利用可能になることが期待できるか。  記述がない場合は「0点」とする。 非常に劣る内容であれば「1点」とする。 やや劣る内容であれば「2点」とする。 標準的な内容であれば「3点」とする。 やや優れた内容であれば「4点」とする。 非常に優れた内容であれば「5点」とする。	30 150
2	工夫した点について	追加セキュリティ対策全体として、費用対効果の観点や機能強化の観点など、工夫した点について記載すること。 他にも、アピールしたいポイントがあれば記載すること。	工夫した点が、セキュリティ対策の強化、費用低減、業務負荷の低減等に効果があると期待できるか。 特に費用対効果の観点から説得力のある説明ができているか。  記述がない場合は「0点」とする。 非常に劣る内容であれば「1点」とする。 やや劣る内容であれば「2点」とする。 標準的な内容であれば「3点」とする。 やや優れた内容であれば「4点」とする。 非常に優れた内容であれば「5点」とする。	10 50
提案要素2 追加セキュリティ対策の機能詳細 (900点)			180	900
1	【必須機能】マルウェア対策	マルウェア対策 検知機能  マルウェア対策にかかる検知機能の詳細について、記載すること。特に、提供可能な検知方式と、その検知方式により防御できる攻撃手法について具体的に記載すること。	背景と目的が十分に理解されており、必要十分な機能を発揮することが期待できるか。  記述がない場合は「0点」とする。 非常に劣る内容であれば「1点」とする。 やや劣る内容であれば「2点」とする。 標準的な内容であれば「3点」とする。 やや優れた内容であれば「4点」とする。 非常に優れた内容であれば「5点」とする。	20 100
2		マルウェア対策 マルウェアの遮断  マルウェアを検知後に実施可能な遮断機能の詳細について、記載すること。特に、さまざまなマルウェアに対して、適用可能な遮断方法について具体的に記載すること。	背景と目的が十分に理解されており、必要十分な機能を発揮することが期待できるか。  記述がない場合は「0点」とする。 非常に劣る内容であれば「1点」とする。 やや劣る内容であれば「2点」とする。 標準的な内容であれば「3点」とする。 やや優れた内容であれば「4点」とする。 非常に優れた内容であれば「5点」とする。	20 100
3		マルウェア対策 対象OS等  「検知機能」「マルウェアの診断」にて記載した機能について、OS毎の利用可否を記載すること。なお、OSとして、Windows（クライアントOS、サーバOS）、Mac OS、Linuxを含めること。また、iOS、iPadOS、Androidについても記載に含めることが望ましい。	OSの種別によらず、十分な機能を発揮することが期待できるか。  記述がない場合は「0点」とする。 非常に劣る内容であれば「1点」とする。 やや劣る内容であれば「2点」とする。 標準的な内容であれば「3点」とする。 やや優れた内容であれば「4点」とする。 非常に優れた内容であれば「5点」とする。	20 100
4	【必須機能】EDR	EDR 検知機能  EDRにおける検知機能の詳細について、記載すること。特に、従来のマルウェア対策では検知できない攻撃に対して提供可能な検知方式について具体的に記載すること。	背景と目的が十分に理解されており、必要十分な機能を発揮することが期待できるか。  記述がない場合は「0点」とする。 非常に劣る内容であれば「1点」とする。 やや劣る内容であれば「2点」とする。 標準的な内容であれば「3点」とする。 やや優れた内容であれば「4点」とする。 非常に優れた内容であれば「5点」とする。	20 100
5		EDR 調査、解析機能  マルウェアを検知後に実施可能な調査、解析等の詳細について、記載すること。特に、どの端末から感染し広がったのか、他の端末に広がっていかないか、どのような被害（どのファイルがアップロードされたのか、どの管理者権限が奪取されたのかなど）があったのか、などの調査、解析方法について、具体的に記載すること。 ログの保存期間についても記載すること。	背景と目的が十分に理解されており、必要十分な機能を発揮することが期待できるか。  記述がない場合は「0点」とする。 非常に劣る内容であれば「1点」とする。 やや劣る内容であれば「2点」とする。 標準的な内容であれば「3点」とする。 やや優れた内容であれば「4点」とする。 非常に優れた内容であれば「5点」とする。	20 100
6		EDR 対象OS等  「検知機能」と「調査、解析機能」で示した機能について、OS毎の利用可否を記載すること。なお、OSとして、Windows（クライアントOS、サーバOS）、Mac OS、Linuxを含めること。また、iOS、iPadOS、Androidについても記載に含めることが望ましい。	OSの種別によらず、十分な機能を発揮することが期待できるか。  記述がない場合は「0点」とする。 非常に劣る内容であれば「1点」とする。 やや劣る内容であれば「2点」とする。 標準的な内容であれば「3点」とする。 やや優れた内容であれば「4点」とする。 非常に優れた内容であれば「5点」とする。	20 100
7	【任意機能】検知機能の強化	検知機能を強化するために利用可能な機能や取り組みについて、具体的に記載すること。特に、SIEMやセキュリティインテリジェンスを提供できる場合は、これらの機能を利用して検知機能を強化する仕組みや流れについて、詳細を記載すること。 なお、手段の検知機能の強化を必要とせず、必須機能である、マルウェア対策とEDRのみで、他の製品等と比較して、必要十分な検知が実現可能な場合は、その根拠を記載すること。	背景と目的が十分に理解されており、必要十分な機能を発揮することが期待できるか。  記述がない場合は「0点」とする。 非常に劣る内容であれば「1点」とする。 やや劣る内容であれば「2点」とする。 標準的な内容であれば「3点」とする。 やや優れた内容であれば「4点」とする。 非常に優れた内容であれば「5点」とする。	30 150
8	【任意機能】インシデントの未然防止策	インシデントの未然防止策について、具体的に記載すること。特にITハイジーンを提供できる場合は、提供可能な機能や運用方法等について、詳細を記載すること。特に、管理対象から漏れてしまった端末の把握や、未適用のセキュリティパッチ等の把握機能があれば、詳細に記載すること。 なお、これらの機能を利用していくうえで、接続団体側で作業が発生する場合は、その詳細についても記載すること。（特に記載がない場合は、SOC (NOC) が主体的に対応を行ふ形になると考えるため、注意すること。）	背景と目的が十分に理解されており、必要十分な機能を発揮することが期待できるか。  記述がない場合は「0点」とする。 非常に劣る内容であれば「1点」とする。 やや劣る内容であれば「2点」とする。 標準的な内容であれば「3点」とする。 やや優れた内容であれば「4点」とする。 非常に優れた内容であれば「5点」とする。	30 150

## 【別紙1】提案書評価基準表

目次	記載依頼事項	評価の視点	比重	配点
提案要素3 SOC (NOC) が提供するサービス内容 (600点)			120	600
1 セキュリティインシデント発生時における支援内容	セキュリティインシデント発生時において必要となるマルウェアの遮断、被害状況の把握、根本解決対応、等の業務について、具体的に説明すること。	セキュリティインシデント発生後において必要となる業務等を十分理解しており、作業が漏れなく記載されているか。また、これらの作業により、十分な対応が実施できると期待できるか。  記述がない場合は「0点」とする。 非常に劣る内容であれば「1点」とする。 やや劣る内容であれば「2点」とする。 標準的な内容であれば「3点」とする。 やや優れた内容であれば「4点」とする。 非常に優れた内容であれば「5点」とする。	40	200
2 連絡体制	「セキュリティインシデント発生時における支援内容」に記載した対応を行うために必要となる各種業務について、運用フローや役割分担について、具体的に説明すること。 特に、セキュリティインシデント発生後の連絡先や連絡方法（接続団体の担当職員へ直接連絡が可能か）や、遮断等の初期対応が可能か、さらに、運用フローの見直し回数や支援回数に制限があるか、などについても、記載すること。	セキュリティインシデント発生時において、異動直後の不慣れな職員でも、十分な対応が実現できるよう、業務負荷の軽減等に配慮された運用フローや役割分担になっているか。また、これらの作業により、十分な対応が実施できると期待できるか。  記述がない場合は「0点」とする。 非常に劣る内容であれば「1点」とする。 やや劣る内容であれば「2点」とする。 標準的な内容であれば「3点」とする。 やや優れた内容であれば「4点」とする。 非常に優れた内容であれば「5点」とする。	40	200
3 SOC (NOC) にかかるSLA	SOC (NOC) が担当する業務について、別紙「三重県自治体情報セキュリティクラウド（追加セキュリティ対策）構築及び運用・保守業務にかかるサービスレベル協定（案）」を参考に、本委託業務で実現可能なSLAについて記載すること。	本委託業務を実施するために提案されたサービスレベルが、必要十分なサービスレベルとなっているか。  記述がない場合は「0点」とする。 非常に劣る内容であれば「1点」とする。 やや劣る内容であれば「2点」とする。 標準的な内容であれば「3点」とする。 やや優れた内容であれば「4点」とする。 非常に優れた内容であれば「5点」とする。	40	200
提案要素4 移行作業にかかる提案 (600点)			120	600
1 エージェントソフトウェアの導入時作業	各接続団体のエンドポイントに対してエージェントソフトウェアを導入する際、発生する作業の詳細とその役割分担について、具体的に記載すること。 また、導入作業をスムーズに行うため、提案事業者が実施可能な支援内容について、記載すること。	エージェントソフトウェアの導入作業に対して、各接続団体の状況を十分理解したうえで、記載ができるか。また、支援内容について、負荷軽減に優れた記載となっており、スムーズな導入が実施できると期待できるか。  記述がない場合は「0点」とする。 非常に劣る内容であれば「1点」とする。 やや劣る内容であれば「2点」とする。 標準的な内容であれば「3点」とする。 やや優れた内容であれば「4点」とする。 非常に優れた内容であれば「5点」とする。	60	300
2 安定稼働するまでの作業	エージェントソフトウェアの導入後に発生する、チューニング作業の詳細とその役割分担について具体的に記載すること。 また、チューニング作業をスムーズに行うため、提案事業者が実施可能な支援内容について、記載すること。	チューニング作業について、各接続団体の状況を十分理解したうえで、記載ができるか。また、支援内容について、負荷軽減に優れた記載となっており、スムーズなチューニング作業が実施できると期待できるか。  記述がない場合は「0点」とする。 非常に劣る内容であれば「1点」とする。 やや劣る内容であれば「2点」とする。 標準的な内容であれば「3点」とする。 やや優れた内容であれば「4点」とする。 非常に優れた内容であれば「5点」とする。	60	300
提案要素5 必要ライセンス数とライセンス価格 (600点)			-	600
1 購入単価	本委託業務で利用するエージェントソフトウェアにかかる単価について、記載すること。なお、導入数等の見込みは、仕様書P10を参考とする。なお、R4年度以降の購入数は、確定したものではないため、注意すること。  ライセンス数の考え方：各団体100ライセンス分×30団体=3,000ライセンスであり、接続団体において、100ライセンスを越えて利用する場合、本提案項目である、購入単価によりライセンスの追加購入を行う。  ※ライセンスの追加購入を行う場合における有効期間は、契約締結日から令和9年3月31日までとする。（残存期間が36か月で追加購入する場合、ライセンス価格の総額は、 提案価格/12か月×36か月 とする。）	提案されたライセンス単価を基に、以下の計算式により求めた点数を本提案要素における評価点とする。  $(1-\text{提案単価}/\text{ライセンス基準単価}) \times 500\text{点}$ ※ライセンス基準単価：1,200円/年（税抜き） ※最大600点 ※有効数字は、小数点以下1桁までを有効とし、小数点以下2桁目で四捨五入する。	1	500
2 必要ライセンス数の考え方	各接続団体におけるインターネット仮想環境等の構成を踏まえて、必要ライセンス数にかかる考え方について、具体的に記載すること。 また、エージェントソフトウェアの追加購入について、最低購入ライセンス数や必要ライセンス数の考え方（ユーザ単位、デバイス単位）、年単位以外（〇〇か月分）の購入可否、支払い方法（先払い、部分払い）について、条件や制限等がある場合は、併せて記載すること。	必要ライセンス数の考え方について、各接続団体の状況を十分理解したうえで、記載ができるおり、納得のできる考え方であるか。また、購入にかかる条件や制限は、妥当なものであるか。  記述がない場合は「0点」とする。 非常に劣る内容であれば「1点」とする。 やや劣る内容であれば「2点」とする。 標準的な内容であれば「3点」とする。 やや優れた内容であれば「4点」とする。 非常に優れた内容であれば「5点」とする。	20	100
提案要素6 実績及び認証取得等 (100点)			20	100
1 契約実績	EDRの導入に関して、同種同規模の実績について、記載すること。	提案者は、契約を提供した実績を持っているか。  本委託業務と同規模の実績を過去5年内に提供した件数。 0件：0点、1件：2点、2件：3点、3件又は4件：4点、5件以上：5点	10	50
2 認証取得等	取得済みの認証等について、記載すること。	提案者、又は、SOC (NOC) は、認証等を取得しているか。  記載がない場合は「0点」とする。 仕様書P8に記載した資格以外で、かつ、有用な認証のみの場合は、「1点」又は「2点」とする。 仕様書P8に記載した資格を有している場合は「3点」とする。 仕様書P8に記載した資格を提案事業者、SOC (NOC) の双方で1つずつ以上有している場合は「4点」又は「5点」とする。	10	50